

岸本のり子12月議会報告

83 2010年1月発行 日本共産党大津湖西地区委員会 連絡先TEL525-1500 FAX525-1661



安心して子育てできる施策を！

保育所に入れない待機児童が激増

ひとり親家庭の増加や、景気悪化に伴う共働きの増加等、保育所入所希望者の急激な増加などにより、待機児童が激増しています。大津市で約200人。岸本市議は

待機児童解消を遅らせたのは、国が負担を減らし、自治体の財政に負担をかけたことを指摘し、新政权に、子ども手当の一部をまわしても、待機児童解消の緊急事業を要望すること。

長妻厚労相がすすめようとしている保育所の国基準引き下げの動きを撤回させること
大津市として公立保育園の新設を地域にバランスよく計画性をもつてすすめること

大津市は一学区に一園の公立幼稚園という、他市にない施策をもち、来年度は就労支援を含めた預かり保育が予定されており、就学前の子どもたちのために何がいいのか、幼稚園と保育所のあり方について検討委員会など設けることを提案。



大津市議会に送っていただいて早3年、これまでのみなさまの支援に心から感謝申し上げます、今年も市民のみなさんの暮らしを守って全力でがんばります。
大津市会議員岸本のり子



線無行政防災 JR運休のお知らせ

朝7時～夜9時まで延長

4点にわたって質問
当局は、国に要望すべきことは要望する。大津市の子どもたちの保育、教育のあり方について関係部署合同のプロシエクトの編成により具体的に検討すると答弁。

粘り強く議会で取り上げ実現

木戸市民センターは、子育てセンター、老人福祉センター、公民館に続き、北消防署志賀分署の移転で旧庁舎の改築は完了します。

岸本市議はJRの運休について、かねてより市民センターの勤務時間内の放送では、通勤通学時間までに間に合わないとして、放送時間の延長を求めています。来年4月、北消防署志賀分署の開設にあわせて、緊急業務の出動がないときは土・日も含め午前7時～夜9時まで放送が延長されることになりました。

生活情報(お誕生や訃報)への活用を

岸本市議は、行政が自主防災組織や地域のコミュニティを強調するのなら、赤ちゃんの誕生、訃報、修学旅行の無事の到着、健診のお知らせなど、地域に密着した情報も合併前のように今後放送することを強く求めました。

国民の立場で政治を前に動かす日本共産党

参院選挙
制度解説

比例代表は日本共産党と政党名で

参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます



今年も全力でがんばります

暮らしの足に巡回バスは欠かせません！

**市民の力で巡回バス試行運転
5日間で659人が利用**

大津市の策定した「大津市地域公共交通総合連携計画」は、あくまでも既存の路線バスが廃止されないためのものとして、もともと路線バスが走っていない旧志賀町北部は対象外というのです。

今年の春、志賀町北部を中心に、市民で暮らしの足を考える会を立ち上げられ、大津市のパワーアップ事業の補助金を活用、5日間の巡回バスと5日間の乗り合いタクシーを試行運転されました。世話人の方々は、予想以上の利用

70代	43%
60代	33%
80代	11%
高齢者の方が殆ど	

者に、「日頃、高齢者の方々が暮らしの足にどれだけ苦勞されているか痛感した」と述べておられます。

高齢化や、合併による過疎化など地域の実情を受け止めて！

そもそも、市の「連携計画」の基となった国の法律「地域公共交通の活性化および再生に関する法律」では、「地域の実情を一番理解している市町村が中心になって、住民の移動を確保する」となっています。

岸本市議は行政がバスを走らすことや、暮らしの足を考える会への援助など市民の足の確保に積極的に対応することを求めました。

サイエンスパークは北部の活性化になるのか

UR(都市再生機構)が開発をすすめてきた伊香立サイエンスパーク。

開発のメドがたたず、大津市が数十億もかけて買い取る話が浮上。



日本共産党と世論に動かされて、結局大津市は、里山として保全活用する区域、約8ヘクタールだけを用地取得する方向へ。あとはURが民間に直接売却することになりました。

しかし、大津市は、買い取る価格はいまだ明らかにしていません。

大型開発より暮らし守って

岸本市議は

活性化の前に今の市民の暮らしを何とか守るべき。大津市が買う必要もない山を買つてはならない。大津市所有の土地はいくらでもある。北部の活性化というが、志賀地域や真野、堅田北部での地産地消、限界集落といわれる葛川の問題こそ対応するべきではないか。民間業者が開発をすすめても破綻をしたら結局大津市がお金をつぎ込むことにならないか。等々迫りました。

当局は「地域や関係者が活性化、雇用の創出に努力されており、行政としてはそれを応援したい。資金的な応援はない」と答弁。

新しい視点は いま「赤旗」にある！

「こんな社会でいいのか」大キャンペーン中

「人間らしく生きていたい」切実な願いを伝えて

「地球温暖化、資本主義の限界…」世界のいまをリアルに

長寿祝われない社会でいいのか

欧州、緊迫感も削減

日本政界、選挙で大変

おすすめしています 「しんぶん赤旗」

しんぶん赤旗(月)

日刊 2900円

日曜版 800円

申し込みは

0803-106877

生活相談センター

大津市会議員 岸本のり子

市民の意識調査でも誰もサイエンスパークの開発を願っていない

大津市は、今年、3000人を抽出して、2010年度から3年間、大津市が行なう事業(施策)203の継続事業と45の新規事業あわせ248のうちから市民に満足度と「重要度」の意識調査をおこないました。

アンケートの結果では、市民の切実な願いは地域交通や、生活福祉、年金、高齢者福祉……サイエンスパークのような大型開発を望む声はありません。